

平成28年度 職員のワーク&ライフ・サポートプログラム

実施状況報告

～第二次・次世代育成支援のための大田区特定事業主行動計画～

平成29年6月

大 田 区

1 目的

平成27年5月に策定した「職員のワーク&ライフ・サポートプログラムー第二次・次世代育成支援のための大田区特定事業主行動計画（前期）ー」の着実な実施に役立てるため、本計画における平成28年度の取組み状況を報告します。

2 取組み状況

（1）プログラムの周知

区ホームページ及び区職員向けグループウェアに掲載し周知を図っています。

（2）各種制度の周知

母体保護、育児休業、介護休暇、休暇、超過勤務の制限など各種制度を「サービス等の手引き」を区職員向けグループウェアに掲載することにより周知を図っています。

（3）職員配置等に関する配慮

職員の育児・介護等に配慮した配置管理を行っています。

また、昇任選考の実施時に一時保育を実施しています。（平成28年度の実績は申込2件、児童4人）

3 取得状況等

(1) 出産、育児に関する休暇等取得状況（平成 28 年度）

休暇等の種類	女性	男性	合計
育児休業（取得率）	45名(100.0%) [45名(100.0%)]	5名(11.6%) [2名(4.2%)]	50名(56.8%) [47名(50.5%)]
育児短時間勤務	2名 [5名]	0名 [0名]	2名 [5名]
部分休業	26名 [38名]	4名 [3名]	30名 [41名]
育児時間	13名 [22名]	3名 [1名]	16名 [23名]
子の看護のための 休暇	171名 [152名]	193名 [163名]	364名 [315名]
出産支援休暇		32名 [37名]	32名 [37名]
育児参加休暇		20名 [23名]	20名 [23名]
男性職員が、子の出生時に5日間以上の連続休暇を取得（取得率）		14名(32.6%) [15名(31.3%)]	14名(32.6%) [15名(31.3%)]

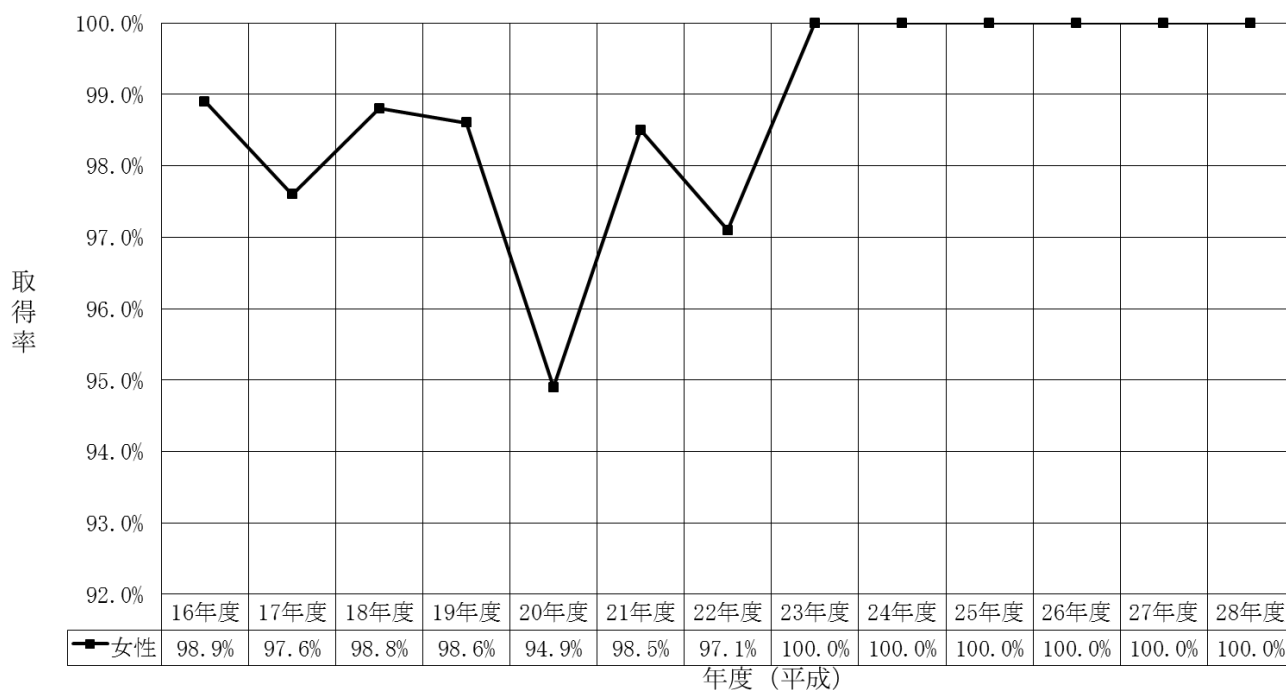
※下段[]内の数字は前年度の取得状況です。

本プログラムでは、次の数値目標を設定しています。

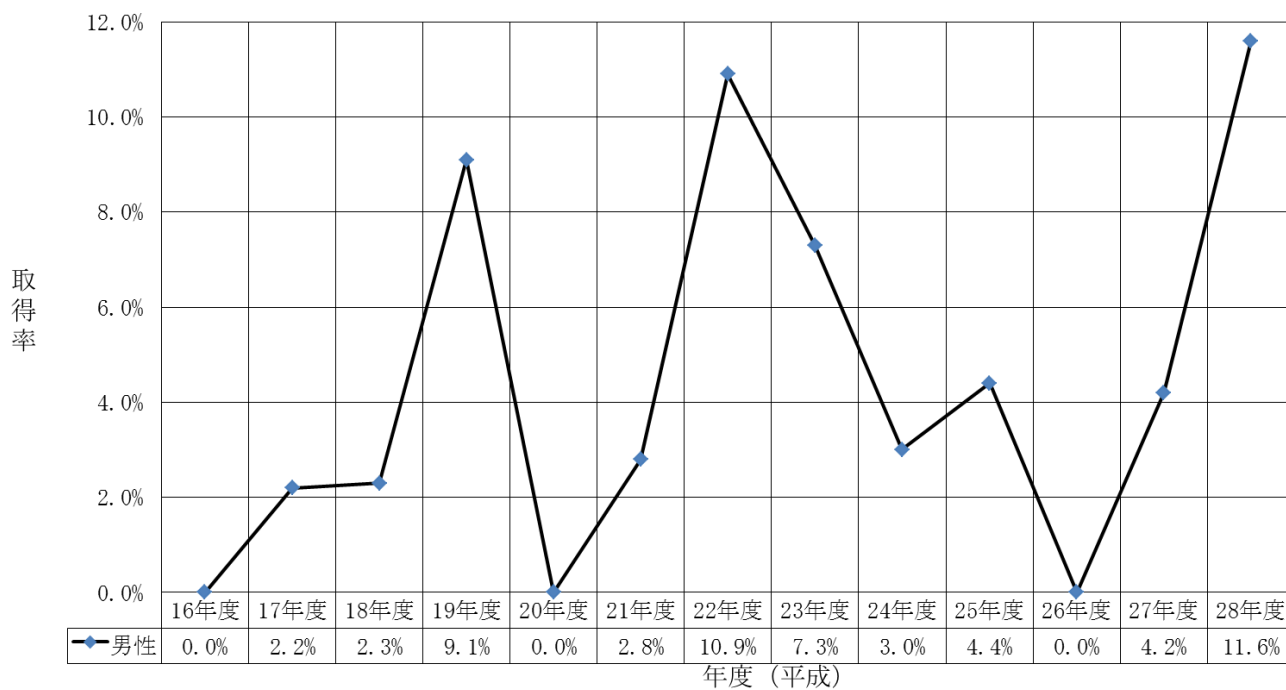
- ① 女性職員の育児休業の取得率
平成 21 年度から平成 25 年度の平均の取得率（99.1%）の維持・向上を目標とする。
- ② 男性職員の育児休業の取得率
平成 31 年度までに 10%を目標とする。
- ③ 男性職員の子の出生時の 5 日間以上の連続休暇の取得率
平成 31 年度までに 50%を目標とする。

(2) 育児休業の取得率の推移 (常勤職員・男女別)

女性職員



男性職員



(3) 介護に関する休暇等取得状況（平成28年度）

休暇等の種類	女性	男性	合計
介護休暇	7名 [8名]	1名 [3名]	8名 [11名]

下段[]内の数字は前年度の取得状況です。

(4) 年次有給休暇の取得状況（平成28年度）

休暇等の種類	取得日数
年次有給休暇	15.4日 [19.7日]

下段[]内の数字は前年の平成27年1月～28年3月の15月間の取得状況です。

(5) 健康診断等の受診状況（平成28年度）

内 容	受診率	備考
健康診断	92.7% [92.1%]	
人間ドック	4.6% [5.2%]	人間ドック等を受診し、健康診断を受診しなかった者
合 計	97.3% [97.3%]	

下段[]内の数字は前年度の受診状況です。